

NPO 法人やまぼうし自然学校

ニューズレター

2009年

冬号



雪の森のプランコ (菅平高原) : CONE (自然体験活動推進協議会) 主催
2009 年度秋・冬の活動フォトコンテスト 佳作入賞!

代表理事よりご挨拶

加々美貴代 (がみちゃん)

「森に学ぶ」ネットワークの研究発表会で信州大学農学部学生の卒論発表を聴きに行ってきた。この会は 10 年前にスタートし、今年で 11 年目を迎える。森をフィールドに活躍する団体、行政、大学の運営委員会でやっている。当校でインターンシップをした学生が、心強い研究結果を発表してくれた。内容は、近隣の小学校での森林環境教育の効果に関するもので、私たちが信じて活動していることが、良い結果として数値に現れていた。ますます自信を持って活動を展開する機動力となった。頑張るぞ!!

発行：特定非営利活動法人 やまぼうし自然学校
住所：〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1223-5751
TEL：0268-74-2735 FAX：0268-74-2795
Email：info@yamaboushi.org URL：http://yamaboushi.org

スタッフよりひとこと



瑞慶覧明子 (すけちゃん)

10 日。今シーズンスキーをした日数は、スキー歴 10 年でいつになく多い。そんな中いつまでも超えられない巨大な壁が「コブ」。オリンピックモグール選手を見て、私もできる!とイメトレ積めど、いざ斜面を見下ろすと、足がすくんで腰が引ける。この恐怖心を克服したら、まだ見ぬ自分に会える気がする。



佐藤明希 (あっさい)

西アフリカ、ギニアの村へ行ってきました。洗濯もお風呂も、ニジェール川で。電気もないけど、何もないのではなく、何もいらないところでした。村中が大切な家族で、心のままに踊り、太鼓を叩き、よく笑う人々との素敵な出会いの連続。この体験が、これからじんわり私の身になっていくのが楽しみです。



武重芽里 (めりちゃん)

期待を裏切って(?)、とても寒い日と暖かい日が交互にやってきた冬。新しい年の準備 (イベント盛り沢山!) に関わったり、冬の山で大人とも子どもとも一緒にお尻でソリ滑りをしたり、雪質にやきもきしたり。そして初めて体験学習のグループを受け持った 3 日間で、枝 1 本分位成長できた気がします。



西澤純子 (じゅんちゃん)

冬の森って面白い! 雪遊びって楽しい! 雪の上に続く足跡を子どもたちと一緒に辿ったり、肥料袋を握りしめ、登って滑ってソリしたり。大人も、やっぱりワクワクする。いろんな遊びと発見と「わあ〜!!」という驚きが楽しくってたまらない。地元っ子だからこそ菅平の魅力を地域の方にもぜひ紹介したい。



保母裕美 (ほぼちゃん)

一時的に寒くなくても、平地にはなかなか雪が積もらず雪遊びに欲求不満な子ども達。年に一度くらい大きな雪玉を作ってもあまり上手になれません。でも保育園ではこま回しやけん玉、お手玉が熱〜く、案外上手でびっくりしました。



石川順子 (じゅんちゃん)

ベストシーズンに向けてのイベント調査下見。首都圏の登録スタッフは現役サラリーマンも多いので、少々荒天でも予定を組んだら決行です。ある日は吐く息も凍りそうな、みぞれ交じりのハイキング。ある日は春一番に吹き飛ばされつつルート確認。移り変わる季節をダイレクトに感じられるひとときです。都内ではもうコブシがほころび始めているところも!



仲川好乃 (よっちゃん)

「沢山の経験と出会ったお友達やスタッフに多くの 宝物を頂きました 感謝です ありがとうございます」 フォレストキッズの保護者からメール頂きました。嬉しいです。4 月から、また新たな子どもたちとの出会いが楽しみです。



長谷川功 (はせじい)

3 月 5 日、早くも事務所脇でがみちゃんが、フキノトウ収穫。春の訪れが若干早い気もしますが、厳寒に打ちひしがれた体には心地よい。小鳥の囀りも声高となり、パートナーを求めています。巣箱作りは間に合うか…。千客万来の季節の準備に向けて、4 月より腹時計以外でも外作業へのご協力、お願いします。

隅に置けない、炭

「薪炭(しんたん)」。なんとやさしい響きでしょう。私が幼少のころの暖房と、日常の炊事は主に囲炉裏でした。大きな行事の際の炊事は、カマドの出番。やまぼうし自然学校と関わって、早10年。薪炭と再会し、より薪炭と深く交流した生活を送るようになりました。

山形県鶴岡市で生活していた半世紀前は、里山の恵みを抜きにした生活は考えられませんでした。分校のストーブの焚きつけにも、家の囲炉裏の燃料と焚きつけにも、杉の枝や葉が欠かせません。祖父とは、早々春(冬期は雪が多くて作業できないので)の薪づくりをしたことを覚えています。伐倒と玉ぎりを祖父が行い、私は運搬や薪割りの手伝いをしました。アルバイトといえば山師(杉を伐採し、定尺に玉ぎりをし、車両の入れる道路まで運び出す仕事をしている仙人(そまびと))の手伝い。杉丸太に丸管を打ち込んで、3〜5本を一緒にして、黒毛牛に引きずらせて運搬する仕事です。そんなハードなアルバイトをしているのは、近所では私1人でしたが・・・。



やまぼうし自然学校の常勤となって、最初の大きな仕事が「炭焼き」でした。でも幼少の頃の里山体験は豊富でも、炭焼きはやまぼうしの森林インストラクター養成講座での、炭の掻きだし体験くらいしかありません。本やネットで調べてできるものでもありません。頼りになるのは、経験者の話。そして一番の味方は、塩尻の古田師匠の手書きの資料でした。炭窯づくりから、掻きだしまで、温度管理、煙の色、臭い、バックファイヤーの状況、焚口のふさぎ方、精錬時の穴の大きさまで詳細に、丁寧に記されていました。人柄が感じられる資料でした。しかし、いくら

詳細に記入されていても、色、臭い、炎の勢いなどは百人百様。感じ方が違って当然。そして炭窯も個性、特徴があり、炭材の樹種や太さ、乾燥度合いも同じではありません。否、全て違うというのが本当です。

だからこそ、炭焼きは面白いんです！やまぼうし自然学校の炭焼きは、需要がある時だけの単発焼きです。着火から掻き出しまでを3泊4日の行程で行っています。体験学習の時は掻き出す時間が限定されているので、逆算して空気量と煙道の調節をするのが妙味です。

精錬を始めるまでは、炭窯の中は真っ暗。掻き出す3〜4時間前から穴を開け、少しずつ空気量を増やしていくと、窯内は次第に赤くなっていきます。炭化が順調に進んだのだと、安堵する瞬間です。掻き出し直前には窯内は1000〜1200℃にまで達します。炭の出来栄えに思考が交錯しながらの掻き出しを終え、消し粉をかけたら白炭の完成です。

炭焼きには、文字では表現できない神秘さがあります。先人達の知恵と技、執念がつまっています。炭焼きをする度に、新しい発見があるのです。5月1〜3日の大人の炭焼きキャンプでは、煙くさい「つなぎ」を着て、朝まで語り明かしたいものです。キャンプのお土産はもちろん、自分で作った自然の蔓の籠に入れた自分で焼いた炭。自室の隅、いや、床の間に飾って一杯やるのもいいですね。今後は木酢液を作って畑に使用し、無農薬野菜を笑味(しょうみ)したいと企んでいます。



文・長谷川 功

イベントレポート 東京支部

【江戸城・北の丸公園散策&ランチ 10.01.21、23、28、30】

メディア告知後まもなくの申込殺到に驚かされつつ、スタッフの気持ちも盛り上がり、期待と不安の当日を迎えました。アクセスの良い場所柄と09年の大河ドラマや歴史ブームもあり、キャンセル待ちの賑わいとなったのでした。リピーター・会員優先日を追加で設定し、平日と土曜日の計4日開催しました。やまぼうし自然学校のイベント初参加の方も新規参加の方も多く、延べ64名の参加者でした。



文・会田 和彰
(05年度講座受講生
インタープリター会員)

当日は江戸城の遺構、皇居東御苑、北の丸公園をじっくり堪能しました。そしてこの都心イベントのもう1つの目玉なのが、ランチです。今回は、オーガニックレストラン「ナート」にて、有機野菜、新鮮魚介、五穀米のご飯、滋味たっぷりのスープに舌鼓をうちました。



第3回目の平日コースは、雨の予報でしたが、相棒の「晴れ男」インタープリターのおかげで雨は降りませんでした。その他の日も比較的穏やかな気候に恵まれ、戦国時代から江戸時代にタイムスリップしつつ、カンツバキ、ロウバイ、ウメ、フユザクラの花々や、クスノキ、イチョウ、エノキの大木の美しさを堪能することができました。同じコースでも毎回違ったおもしろさを発見しながら歩くことができ、メジロ、キンクロハジロ、ノスリ、カワセミなどの野鳥との出会いもありました。大都会の中の自然をゆったり満喫・発見する楽しさを味わった4日間でした。また、今回のイベントを通して、自分自身の歴史への興味もいっそう増しました。

今回の参加者アンケートに、「ご縁をうれしく思います」と書いてくれた方がいらっしゃいました。おかげで、次回もよりよいプログラムを提供しようとスタッフ一同、気合が入っております！ご参加ありがとうございました。次回の観察会でも、首都圏のとおき自然をご紹介しますので、ご期待ください。



長野県知事賞 受賞しました

平成21年度 長野県ふるさとの森林づくり賞
森林環境教育推進の部
長野県知事賞

この度、「長野県ふるさとの森林づくり賞」において、学校や地域での森林環境教育推進の活動及び取組において貢献のあった個人又は団体、学校に贈られる森林環境教育推進の部で、長野県知事賞をいただきました。森林環境教育を事業の柱のひとつとして活動してきた10年を、評価していただいたものです。これを励みに、より多くの方に、森林が持つ働きの大切さを知り、森で過ごす心地よさを味わうきっかけを、提供していきたいと願っております。（右の写真、前列右から4人目が、久しぶりにスーツを着た加々美です！）



趣旨：社会全体の共通の財産である森林を、健全な姿で次の世代に引き継いでいくことを目指し、県民の主体的な参加の下で森林づくりを進めるために制定された「長野県ふるさとの森林づくり条例」の基本理念に基づき、森林・林業の健全な発展に資するため、その進捗に貢献のあった者に賞を贈り、その功績を称えます。

主催等：長野県、長野県教育委員会、財団法人長野県緑の基金、長野県森林組合連合会、社団法人長野県林業改良普及協会、長野県林業経営者協会、長野県山林種苗協同組合、長野県特用林産振興会、社団法人長野県猟友会、長野県木材協同組合連合会、財団法人長野県林業労働財団

功績事項：

平成12年3月、県内初の「環境」分野のNPO法人として認証を受ける。「森でつながるいのちのわ」を基本理念に掲げ、距離ができてしまった森と人を結び活動を行っている。特に子どもたちが森における活動によって、自ら学び、考え、判断し、行動できる力を養う場を提供している。上田地域の子ども対象に、毎月「森でモリモリ遊び隊」を開催し、長野県学習旅行誘致推進協議会や菅平高原観光協会と協力して林間学校も受け入れている。いずれも菅平高原を舞台に、森や沢で子どもたちが自由に遊べる活動や、季節に応じた自然体験活動を行い、仲間と協力する楽しさや個性、協調性が育てられている。また、森林インストラクター養成講座を通じて、指導者となる人材の育成に力を入れるなど、森林環境教育推進の第一人者としての活動は、他の模範となるものである。

森でモリモリ遊び隊

12月5、6日 森のクリスマス

一足早く、雪の森でクリスマス。チョコフォンデュ絶品！

1月18日 雪の森遊び

雪の森の建築家、芸術家、ソリレーサーにブランコ乗りも。遊びがどんどん広がって、雪の森を遊び尽くしました。

2月14日 歩くスキーで森探検

歩くスキーをはいて、たっぷりの雪の中をずんずん。最初はぎこちなかったみんなも、あっという間に上手になりました。宝物も、た〜くさん見つけておおはしゃぎでした。



スリル満点のソリ、楽しすぎる！



手だけで、こんな大きな隠れ家をつくっちゃったよ

転んでも、笑えばへっちゃら！



フォレストキッズ

12月19日 クリスマスリース作りの蔓探し

葉っぱの有無や折れて丸くするのが難しいものなど、蔓にもいろいろな種類があり、こだわりの逸品をゲットしていました。

1月16日 どんど焼き 無病息災を願いました。

1月30日 バードウォッチング 18種類の鳥に出会いました。

2月27日 菅平高原の雪の森ウォッチング 日帰りの強行軍で！

朝から盛り上がりっぱなし。初めてのことばかりでわくわくドキドキの楽しい1日。



こだわりの蔓を探しました

どんど焼き、お餅のスタンバイもOK！



動物の糞？楽しい大発見がたくさんありました

やまぼうしインプリ発信

楽しい風を呼ぶインタープリター:木村 俊幸



プロフィール

早期退職を期に軽井沢に移り住み、創業。講座の受講から始まった、やまぼうしとのつきあいは5年目。孫と愛犬「伊藤さん」をこよなく愛し、好奇心旺盛。自然(山)に癒され、仲間との一杯が元気の素！

「チーム腹時計で、温かい信州を満喫！」

メタボになりつつある我がお腹を見つめながら「これではいかん！」とダイエットを兼ねて2月10日(水)のチーム腹時計の企画に参戦！NPOのお仕事体験と銘打った、2010年発足の新企画の第2回です。今回のチーム腹時計には、やまぼうしに来るのが初めて♪ネットを見に来ました！と云う2名の麗しき女性も加わり、華やかに始まりました。

最初は、雪合戦イベントに向けての合戦場の整備作りに出発！！スノーシューを履くのは初めてと云う女性陣には、スタッフの「はせじい」が優しく指導……。合戦場に積もりっぱなしとなっている雪面を、選手達が深い雪に足を取られない様に、端からスノーシューで踏んで行きます。老若男女、皆で声を掛け合い「いっちに・いっちに…」。数分間行っただけなのに、体が温まり、丸々ときていたウェアを次々と脱ぎ始め、腕まくりまで！スノーシューで雪原を笑顔で走り回り、元気一杯な女性陣！おじさんパワーを見せ付けるつもりが、あの笑顔と元気に完敗。楽しく進んだ作業は、思っていた以上に早く完了しました。完了後、「はせじい」から雪合戦の公式ルールを基に、合戦場に備え付ける玉除け台や陣営・簡単なルールの説明を聞きました。雪玉を相手にぶつけるだけの簡単なスポーツ？と思っていたのですが、厳格なルールにビックリです。

まだまだこれでは腹時計も鳴りません。次は、チェーンソー・ノコギリを軽トラに積み込み、森林整備に出発！！雪積もる森林の中を、スノーシューを履いて、キツツキの巣穴や動物の足跡ウォッチングを楽しみながら、ハイキング気分です。今回訪れた場所は、十ノ原別荘地の未来の自然散策路の、まだ入り口付近での伐採体験です。木を伐るのも初めてと云う女性陣に、「受け口」やら「追い口」やらと説明し、目を輝かせた2人が伐採に挑戦！倒れた木の前で記念撮影パチリ！伐り倒した木は、薪に利用され、その薪で美味しい釜の飯を炊いていると思うと「12時に近いぞ～」と腹時計も鳴り始めました。



事務所では、釜の飯当番の「すけちゃん」が、お釜の中でふっくらと炊き上がった白米と温かいお汁を作ってお出向かえです。全員そろって「いただきますー！！」。「おいしい・おいしい」と笑顔が絶えず、おこげ探しまで……。体を動かし、空いたお腹に美味しい釜の飯！幸福感で一杯な顔に満ち溢れていました。女性陣も「もりもり」食べて、余ったご飯でおにぎりの土産作りまで！食に対する欲望はすざまじいものです。初めて参加の女性陣・偶然に知り合った仲間(仲釜？)、偶然が偶然を呼ぶ新しい出会いに感謝し、次回のチーム腹時計での再会を誓い合いつつ、帰途に着きました。

帰り道、美味しかったなあ～と思いつつ、「ダイエットは…」と考えましたが、体を動かし、お腹一杯で±0と云う事で大満足！お腹も一杯・心の充電も一杯になる「チーム腹時計」にバンザイ！！今後も、3月10日(水)、4月12日(月)、5月10日(月)と毎月一回開催です。

信濃毎日新聞に、掲載されました

代表理事 加々美が寄せた原稿が、信濃毎日新聞に掲載されました(2010.2.25)。今後も3～4ヶ月おきに、掲載される予定です。

「雪は素晴らしい教材」

菅平高原は2月になってようやくまとまった雪が降り、白銀の世界へと変わった。まだ春遠い菅平だが、近年の暖冬傾向で暖かい日も多く、せっかくの雪も解けては積りの繰り返しだ。

この季節になると毎年、東京都昭島市にある、創立70年の啓明学園初等学校(小学校)が冬の体験学習をしにやって来る。2泊3日の滞在期間中、スキーは一切せず、「雪さんまい」の時間を過ごす。スキーには家族でも行けるので、この機会ならではの体験をという目的で、2003年から始まった。初日はソリ滑り。2日目は事前学習で作った「myかんじき」で「雪の森ウォッチング」を楽しんでから、雪のブロックでイグルー(雪の家)作り。最終日は雪合戦で締めくくり、雪を存分に使ったプログラムを体験する。

この活動には、なんといっても雪が欠かせない。たっぷりの雪で子どもたちを迎えるために、この時期のスタッフは「雪ごい」をする毎日である。

「雪は天からの手紙」と言われるように、雪の状態で天空の様子が読み取れる。雪に触れると、時にはサラサラ、時にはしっとりしているのは、天空の湿度や気温によるためだ。雪は本当に不思議な物体だと、空から舞い降りる様子を眺めながらいつも感じる。

子どもたちにとっては、自由自在に形を変える雪を使って作るイグルーは、想像力を動かせるには絶好の材料となる。四角い塊を積み上げて、丸い形へと仕上げていく。塊となった雪はとても重たいので、グループのメンバーと協力しないと作業は進まない。「スノーソー」と呼ばれるノコギリで雪を切る係、ソリを使って運搬する係、積み上げる係があり、「早くソリで運んでよ、ブロックがたまったらよ～」と「わかった、でも重たいんだよね。今度は交代ね」、「ここを入口にしようか」「雪だるまを入り口に置こうか」などと声を掛け合う。どんなイグルーになるかは、子どもたちの発想次第だ。



長野県のような地域では、雪は交通渋滞などの原因となる上、除雪作業も必要で、やっかいなイメージが付きがちだ。だからこそ雪を使った体験を、地元の子どもたちや大人にも楽しんで欲しいと思っている。そんなきっかけになればと、子どもたちが一生懸命作ったイグルーをキャンドルで幻想的に照らす、初めての「キャンドルナイト」を26、27日に企画している。時には北海道よりも気温が低い菅平の冬の寒さ、ろうそくの幻想的な炎、そしてイグルーの中の暖かさを一人でも多くの方に体験してほしい。

「お〜い、森！」～森たくさん講座～

春が待ち遠しい長野でも、お〜い、森！講座が芽吹き始めました。どうぞ参加ください。

今後の開講スケジュール

参加費 各回 3,000 円

- ◆3月20日（土） 森の中のつながりを探る講義とアイスブレイクゲーム
- ◆3月21日（日） 森を見る・診る・視る！雑木林探検と森の恵みのクラフト
- ◆4月10日（土） 森づくりと林業を学ぶ講義
- ◆4月11日（日） 森林整備に挑戦！大人の秘密基地・ティピーづくり
- ◆5月22日（土） 野外活動の安全を学ぶ講義
- ◆5月23日（日） 森林観察（森林・実技）、登山（安全と教育・実技）

森を楽しむ講座～森林インストラクターを目指す、月イチ講座～

【森を楽しむ講座 ガイダンス】

2010年 2月28日（日） 3月3日（水）

～森を楽しむ講座～森林インストラクターをめざす月イチ講座と銘打った、今年の指導者養成講座。首都圏を中心に新聞、新聞折込誌、定期購読誌などに告知したところ、ガイダンスには80名余の参加がありました。



今年は、難関の森林インストラクター試験の受験対策のみに傾倒せず、受講を通して「森の奥深さを知る楽しさ」「森で快適に過ごす楽しさ」「森の仲間が増える楽しさ」などを実感できることを目指しています。ガイダンス当日は、お試し講座として理論「森林」、実技「樹木観察」を盛り込みました。知的好奇心旺盛な皆さんと歩いた樹木観察は、たくさん目で観察する楽しさを、改めて実感することができました。今年は、「森林」や「やまぼうし自然学校」に興味をもった新たな仲間が、何人集まってくれるでしょうか。ご興味に合わせて、1回ごと、部分的な参加で「CONE リーダー」や、「小学校長期自然体験指導者」の資格を取得することができます。ご参加お待ちしております。

文・石川順子

今後の開講スケジュール

参加費 各回 3,000 円

- ◆3月27日（土） 森林の生態（森林・理論）、ロープワーク（野外活動・実技）
- ◆3月28日（日） 山村と農林業、森林の利用・効用（林業・理論）
話法（安全と教育・実践）
- ◆4月17日（土） 経営・施業、森林保全、木材の利用、特用林産物（林業・理論）
- ◆4月18日（日） 森林整備（林業・実技）、森林関連法規（森林・理論）
- ◆5月22日（土） 野外ゲーム、野外の危険（安全と教育・理論、実践）
山の安全（安全と教育・理論）、樹木の分類（森林・理論）
- ◆5月23日（日） 森林観察（森林・実技）、登山（安全と教育・実技）

体験学習レポート

「啓明学園初等学校 菅平体験学習

＊やまぼうしとの出会いと雪三昧の3日間＊」

啓明学園初等学校教諭 澤 達宏



イグルー完成の夜は、児童にやさしく語りかけ、最終日の雪合戦では、フラッグめがけて頭から飛び込み、“真剣に”遊ぶ醍醐味を、その大きな背中で教えてくれる澤先生。大好物のやまぼうし特製リンゴジュースを抱えるときの笑顔と3日間への熱い想いに、これからは学校と共に進化し続けたいと、固く誓わずにはいられません。（瑞慶覧明子）

本校では、長年、雪のプログラムを実施したいと願い、その下準備に取り組んできました。私の勤務する啓明学園は、海外帰国生の受け入れ校として、七十年の歴史を重ねてきました。現在も、児童・生徒の約3分の1が帰国生です。東京の私立学校ではありますが、多摩地域の自然豊かな場所にあります。

子ども達は、東京に降る、わずか数センチの雪にも、大喜びし、手を真っ赤にして遊んでいます。そうした子ども達に、もっと大きな雪の体験をさせてあげたい、家庭で体験できるもの（スキー、スノーボード）以外の、学校でしかできない体験をさせてあげたいという思いで、このプロジェクトはスタートしました。



何年間かけて、群馬県や長野県のスキー場や、野外活動をする団体をたずね歩いて調査を重ねました。フィールドの安全性、交通の便、現地スタッフの熟練度、実現可能なプログラムの内容、道具、用具の充実度、毎年安定した雪の量など、様々な面から検討を重ねました。本校では、初めての冬のプログラムであり、スタートさせるのは、全職員を納得させるだけのものを提示しなければなりません。実のところ、草津にほぼ決定した段階までできていて、最後に菅平に行きました。そこで、初めて、やまぼうし自然学校に出会いました。

第一印象としては、他の団体に比べ、若干頼りないようなイメージを持ちました。しかし、案内されながら半日を過ごすうちに、ものすごい熱意を感じました。また、当初頼りないと感じたことは、このやまぼうし自然学校が、発展途上にある団体なのであるということが分かりました。これは、お互いにとって、新しいものを創り上げていくには、最良のパートナーであることを確信しました。

早速、職員会議で報告し、後日、職員全員で菅平に行き、ようやく2003年2月に、初めての菅平体験学習をスタートすることができました。

プログラムとしては、現地に行く前に2度、やまぼうしのスタッフが学校に来て、児童一人一人のかんじづくりをします。現地でのプログラムは1日目の午前は雪慣れのためのそり遊び。学校の竹で児童が自作したそりも使います。2日目は、午前は、自分で作ったかんじきをはいたのトレッキング、午後はイグルー作り、夜は、イグルーでのひととき。3日目は、公式ルールに基づいた雪合戦をします。



現地での、教員の反省会は毎回、深夜まで続きます。やまぼうし自然学校のスタッフにも、時には厳しい意見を出すこともあります。嬉しいことに、やまぼうしのスタッフの皆さんは、そんな意見もいつも真摯に受けとめて、改善に向けて努力してくれます。そうした時間と歴史を重ねる中で、信頼できるパートナーシップが作れてきたのだと思います。ほぼ毎回、このプログラムに

関わっている私にとっては、やまぼうしのスタッフの方々とも、旧知の友人、仲間のような存在となっています。

最後に、このプログラムを体験した子ども達は、口々に、小学校生活の最高の思い出だと言います。学校にバスが着いたときも、「降りたくない、今すぐ菅平に戻ってほしい。」という子がたくさんいます。そして、「先生、自分が大学生になったら、手伝いでもう一度菅平に行かせてくださいね。」と。



※3日間のプログラムの様子は、やまぼうし自然学校ホームページ「体験学習」のページでもご紹介しています。どうぞご覧ください。

2009 年度通常総会を開催しました

2月11日（木・祝）上田駅前ビルバレオ 会議室

09年度事業報告・会計報告ののち、NPO認証10周年を迎える今年の事業計画に、さまざまな意見が寄せられました。4つの柱（森林の理解者を増やす／会員サービスの向上と会員募集／地域社会に生きる人材を育成する／NPO活動をステップアップする）を推し進めるために、会員やお客様とのコミュニケーションをより充実させたい、との想いで一致し、10周年記念イベント（10月10日）の開催に向けて、PR活動、会員サービスの充実を図ることが確認されました。

後半には、新聞紙を使ったエコバック作り講習会を行いました。さすがやまぼうしの会員の皆さんは、個性豊かな作品に仕上げていました。



イメージキャラクター新登場！



「森でつながる いのちの わ」のキャッチフレーズが素敵なイメージキャラクターになりました。イラストレーターの、さのまきこさんの力作です。右手にやまぼうし、左手に幸せの青い鳥。たくさんの「わ」をつなぐ、親善大使となることを願っています。併せて、4つ折りパンフレットもリニューアルしました。



さのまきこさんのホームページ： <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~sanomakiko/>

いちおし体験学習

いつでもガイド

「いつでもガイド～選べる4つの冬遊び～」と銘打って、この冬、お1人様から楽しめるプログラムをご提供しています。ゆかいなインタプリターが、あなたの冬遊びをプロデュース。とっておきのフィールド、とびっきりの素材をご用意してお待ちしています。3月の終わりごろまで開催していますので、お気軽にお問い合わせください。



■ スノーシュー ■

歩行の延長で気軽に楽しめます。雪原をのんびりお散歩。レンタル 1000 円

■ ネイチャースキー ■

初めてでもすいすい。雪の森の動物にも会えるかも。スキーレンタル 2000 円



■ 森のクラフト ■

森の恵み（小枝や木の実）でオリジナルのお土産をつくりましょう。



■ あつあつ おやつ ■

信州特産のリンゴなどを使って、おいしいおやつをつくりましょう。



■ プログラム時間

① 9:30～11:30 ② 13:00～15:00

■ 参加費

小学生～大人 1人 2,000 円 幼児無料（保護者同伴）

+++++会員と読者の交流ステージ+++++

京都大江&宝ヶ池より 赤松信哉さん（06年講座受講生、インタプリター会員）

世の中にログハウスをセルフビルドしている人の事を時々聞く事がありますが、『こんな人はおらんやろ～！？』というセルフビルドを紹介します。私今年で56歳になりますが、15歳ほどの頃に親に連れられて故郷の山に松の植林を行いました。自分で植えた木で家を建てる決意し、東京の会社を早期退職し京都大江の田舎（鬼退治の伝説の地）にて一人でコツコツと雑木林をコンボで整地、基礎を打ち、伐り出した木の皮を剥き、チェーンソーや大工道具で加工し、やっと棟上も終わり、現在建具を作っています。やまぼうしの仲間から「漆喰塗りの時は必ず行くから！」と助っ人を名乗り出ている人も。今もお米と野菜作りもしていますが、ログハウスの周りにパン釜作ったり、炭焼窯作ったり、・・・と計画いっぱいです。ブログで状況報告していますので、覗いてください。
メール: farm.akamatsu@gmail.com ブログ: http://imo-yuyu.cocolog-nifty.com/



イベント情報

やまぼうし自然学校の会員の方は・・・

◆長野本校イベント 毎回参加費50%割引（半額！）

◆首都圏イベント 毎回参加費10%割引

さらに、3回参加で次回50%割引

♪ 手前味噌とお花見座布団づくり ♪

大豆と麹と塩とみんなのおしゃべりで、おいしい手前味噌がでちゃいます

日時 3月28日（日）10:00～14:30

場所 上田市中央公民館 調理室

参加費 1セット 3,000 円

※1セットあたりの調理人数は問いません

※1セットの材料で約3kgの味噌をお持ち帰りいただけます

申込締切 3月24日（水）

長野本校

♪ やまぼうしウインターキャンプ ♪

みんなの「やってみよう！」でつくる、雪遊び三昧の4日間

日時 3月30日（火）～4月2日（金） 3泊4日

活動場所 上田市菅平高原

集合解散 池袋駅東口、または菅平高原

対象 小学1～6年生、中学生

料金 39,000 円（菅平高原集合解散の方は30,000 円）

定員 30名（最少催行人数 10名）

申込締切 3月21日（日）

長野本校

♪ 国分寺崖線散策&ランチ ♪

二子玉川からサクラの名所砦公園へ。大好評の世田谷自然探訪第3弾！

日時 3月30日（火）9:30～15:00

※会員&リピーターコース（4月1日、3日）は定員まであとわずか
ですので、お電話でお問い合わせください

集合場所 田園都市線 二子玉川駅

参加費 参加費 5,000 円

※ランチ代、資料代 ほか

定員 15名（申込み多数の場合は抽選）

申込締切 3月23日（火）

東京支部

♪ 十ノ原森林整備と窯焼きピザ ♪

未来の自然観察コースの森林整備をしたあとは、あつあつ手づくりピザ！

日時 4月3日（日）10:00～15:00（集合 9:30）

集合場所 上田市菅平高原 やまぼうし自然学校事務局

参加費 参加費 2,000 円

※森林整備に必要な道具は、やまぼうし自然学校でお貸しできます

定員 20名

申込締切 3月31日（水）

長野本校

12, 1, 2月の実施事業

■ 事務局

評価会（12月12日 長野、12月19日 東京）
チーム腹時計（1月11日、2月10日 長野）
総会（2月11日）

■ おーい！森 講座・森を楽しむ講座

ガイダンス・基調講演・お話し講座
（2月21日 長野、2月28日 東京）

■ 体験学習

啓明学園（12月21日、1月15日、2月24、25、26日）、私学スキー教室（12月28日）
桐光学園（1月13日）、白岡町立南中（1月14、15日）、菅蒲町立菅蒲中（1月14日）
杉戸町立東中（1月17日）、小平市立小平第六中（1月24日）、東大和市立第一中（1月26日）、
野田市立木間ヶ瀬中（1月28日）、上尾市立大谷中（1月29日）
国立音楽大学附属小（2月4日）、桶川市立加納中（2月4日）、二松学舎大附属高（2月5日）
国立市立第五中（2月7日）、淑徳小（2月15日、16日）

■ 森でもりもり遊び隊／フォレストキッズ

森のクリスマス（12月6日 遊び隊）、クリスマスリースの蔓探し（12月19日 フォレストキッズ）、
どんどこ焼き（1月16日 フォレストキッズ）、雪の森遊び（1月17日 遊び隊）
バードウォッチング（1月30日 フォレストキッズ）、歩くスキー（2月14日 遊び隊）
雪の森ウォッチング（2月27日 フォレストキッズ）

■ イベント

親子でチャレンジ～黒川の雑木林で森林整備体験～（1月10日、2月7日 東京）
江戸城・北の丸散策＆ランチ（1月21日、23日、28日、30日 東京）
森の恵みのワイルドランチ（1月23日 長野）いつでもガイド～選べる4つの冬遊び～

■ 委託

トップツアー教育旅行研修（12月2日 長野）
黒川野外活動センター 黒川森林ボランティア（12月6日、1月10日、2月7日 東京）
黒川野外活動センター主催イベント運営協力（12月20日 東京）、信州アウトドアプロジェクト
指導者養成講座講師（12月9日 長野）筑波大学 研究調査補助（12月10日、15日、16日、
17日 長野）長野大学 講義（12月16日 長野）、川西公民館冬の川西広場（1月5日 長野）
グリーンツーリズムシンポジウム（1月21日 長野）、関西ツーリスト（2月13日、長野）
DNP 東海労働組合（2月14日 長野）

♪ 大人の炭焼きキャンプ ♪

やまぼうし流炭焼きを、ゼロから体験する大人のキャンプ

日時 5月1日（土）～ 3日（月・祝） 2泊3日
活動場所 上田市菅平高原 自然体験の森
（満天の星空の下、テントに泊まります。差し入れ、持ち込み企画大歓迎！）
参加費 17,000円（宿泊費、食費、指導料、資材費など 込み）
定員 20名
内容 炭焼き（立て込み、火入れ、精錬、掻きだし、炭篩）、焚き火料理、
大人のキャンプファイヤー、森探検、自然素材のものづくり など（予定）
申込締切 4月23日（金）

長野本校

♪ りんごのお花見会 in 小布施 ♪

サクラのお花見が終わっても、信州はリンゴのお花見が楽しめるんです

日時 5月3日（月・祝） 10:00～15:00
場所 須坂市小布施 信州堂リンゴ園
参加費 大人 2,000円 小学生 1,000円
※昼食付き（食器類はご持参ください）リンゴ農家のお仕事体験も。
定員 20名
申込締切 4月23日（金）

長野本校

♪ 森の春探しと山菜パーティー ♪

春の森の恵みを体いっぱい、おなかいっぱい楽しみましょう

日時 5月8日（土）10:00～15:00
場所 上田市傍陽 入軽井沢館
参加費 参加費 大人 3,000円 小学生 1,500円
※昼食付き（食器類はご持参ください）
定員 30名
申込締切 5月1日（土）

長野本校

♪ 新緑ハイク！奥武蔵自然観察会 ♪

武蔵野の奥座敷、飯能。全行程約10キロ。起伏が少なく歩きやすい中級ハイクです。

日時 5月15日（土）
集合場所 西武線 飯能駅 9:00
解散場所 西武線 高麗駅 15:30
参加費 参加費 3,000円
定員 30名

東京支部



「創まりの時 （はじまりのとき）」

池田雅子・画
パステル

佐久市在住。やまぼうし会員の奥様。森の温かみに触れたことがきっかけで始めたパステル画。やわらかい色彩とタッチは、本人からにじみ出たもの。毎月届けられる作品を楽しみにしている保育園もある。4月には長野本校にて、展示会を開催予定。